



7/5 Hirado City Photo News 日韓で世界遺産登録を祝う



平戸文化センターで、ユネスコ世界文化遺産登録5周年を記念して「第3回日韓文化交流会」が行われました。

当日は、韓国から480名と平戸市民約170名が参加し、南原国楽芸術高等学校の学生による伝統舞踊の披露やバイオリンの演奏、アイドルボーカルグループによるダンス披露のほか、日本語で「長崎は今日も雨だった」が歌われるなど、韓国の伝統文化とクラシック、ポップスによる多様な文化芸能が披露されました。

7/3 Hirado City Photo News 犯罪のない明るい社会へ



平戸市役所で「第73回社会を明るくする運動」にともない伝達式が行われました。この運動は、犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的としています。伝達式では、平戸・松浦保護司会の太田正喜会長が松田副市長に総理大臣メッセージを読み上げました。

また、この運動に合わせ、7月5日から10日まで平戸城が運動のイメージカラーである黄色にライトアップされました。

6/24 Hirado City Photo News 災害から命を守るために



釜田漁港で、豪雨による土砂災害や地震による被害などを想定した「平戸市総合防災訓練」が実施され、消防、自衛隊、警察など21の関係機関と地域住民合わせて401人が集まりました。

被害状況の情報伝達訓練に始まり、土砂災害での倒壊家屋・車輛からの救助訓練、ドローン偵察訓練、平戸市社会福祉協議会や防災ネットワークのボランティアセンター設置訓練、自衛隊・LPガス協会の炊き出し訓練、自主防災組織、婦人防火クラブの初期消火訓練、消防団などの一斉放水が行われました。

6/18 Hirado City Photo News 武家茶道「鎮信流」を気軽に



松浦史料博物館は毎月第3日曜日に平戸市民が無料で入館できる「平戸市民無料の日」を実施しています。6月からは、毎月の「平戸市民無料の日」に併せて、平戸市民先着30名を対象に、平戸藩主松浦家に伝わる武家茶道「鎮信流」の呈茶が閑雲亭にて無料で体験できるようになりました。この機会に武家茶道「鎮信流」に触れてみてはいかがでしょうか？

また、「平戸市民無料の日」以外にも、有料で呈茶を楽しむことができますので、事前に松浦史料博物館までご連絡ください。

7/11 Hirado City Photo News 戦没者の魂に感謝の祈り



平戸文化センターで令和5年度平戸市戦没者追悼式が開催され、遺族や来賓など約250人が参列しました。

式典では、遺族を代表して、徳末和政さんと藤澤弘子さんがご霊前に献花を行い、平戸市連合遺族会の太田正喜会長が追悼のことばを捧げました。

また、中野小学校6年生が平和への誓いを宣誓し、合唱しました。その後、平戸中学校吹奏楽部の生徒による演奏が行われ、戦没者の遺徳を偲ぶとともに、平和への思いを新たにしました。

7/8 Hirado City Photo News 巨大かつば巻き4年ぶりに復活



田平町民センターで、「第36回がわっぱ祭」が開催されました。このお祭は、田平町に伝わるがわっぱの言い伝えの伝承と、夏休みを前に子どもたちの水難事故防止を祈願して開催しています。

田平町内の小学生から募集した絵やポスターの展示・表彰のほか、小学生が片足立ちで綱を引っ張りあう「がわっぱ相撲」が行われました。

また、4年ぶりに「かつば巻きチャレンジ」が開催され、10メートルのかつば巻き2本を地元児童ら約50人が掛け声に合わせて一斉に巻きました。

7/21 Hirado City Photo News 地元の応援で掴んだ勝利



プロ野球独立リーグ「ヤマエグループ九州アジアリーグ」に所属する「北九州下関フェニックス」のホームゲームが、昨年に引き続き平戸市総合運動公園「赤坂野球場」で行われました。地元少年野球チームや水産会社社長による始球式、商工会議所主催のど自慢大会チャンピオンによる国歌独唱や、中学生のプラスバンドによる応援など、さまざまなイベントに球場は盛り上がりました。

火の国サラマングーズとの2連戦は、北九州下関フェニックスが1勝1分で勝ち越しました。

6/25 Hirado City Photo News 30年の感謝の気持ちを込めて



田平町の瀬戸の寄り道で、瀬戸の寄り道開設30周年イベントが開催されました。

「マグロ解体・即売会」や、「お米すくい」、「花苗のプレゼント」など、たくさんのイベントが行われ、「野菜の詰め放題」では、上手に工夫し、ビニール袋にたくさんの野菜を詰めていました。

瀬戸の寄り道は、毎週水曜日・日曜日の午前8時から営業しており、地元で採れた新鮮な農水産物などを販売しています。当日も多くの人々が両手いっぱい野菜を持ち帰っていました。